



フィリピン台風被災者救援募
金に多くの皆様からのご協力
ありがとうございました。

昨年11月8日、台風30号は、フィリピン各地に甚大な被害をもたらしました。県民団体である「フィリピン台風による被災者を支援する千葉県民の会」では、県下各域で被災者救援募金を展開し、多くの県民の皆様のご協力を戴きました。木更津市においても募金の呼びかけに、公明党の議員並びに党員の方々にサポートをしていただきました。お寄せ頂いた救援募金253万3893円につきましては、12月11日、日本赤十字社千葉県支部に全額寄託いたしましたことをご報告申し上げます。皆様の真心からのご支援に心より感謝申し上げます。

決の50周年へ力強くスタート！！

新年あけましておめでとうございます。自公連立政権がスタートしてから1年、経済再生と東日本大震災からの復興加速を最優先課題として取り組んできました。その結果、経済は回復軌道へと転じ、企業による賃上げの兆しが見え始め、復興も予算枠拡大などで着実に前進してきました。しかし、まだまだ課題は山積しています。今こそ公明党の特徴である、地方議会と国会議員とのネットワークを最大に生かし、現場の声が生きた施策を政治に反映させてまいります。

公明党は本年11月17日、結党50周年の佳節を迎えます。

これからも『大衆とともに』との立党精神を胸に、木更津市議団4人が一丸となって、生活者の視点に立った政治実現に全力で取り組んでまいります。今後ともより一層のご支援をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして素晴らしい1年となりますよう心よりお祈り申し上げます。



笑顔で募金を呼びかける公明党女性局の皆様（昨年十一月二十三日、日本赤十字社千葉県支部にて）

*アクアライン通行料金 800円継続が決定！

国土交通省は、今年度末までの予算で、普通車を800円に値下げしている東京湾アクアラインの通行料金を、地元の千葉県の財負担を条件に来年度も継続することが12月20日決定しました。この決定を受け、水越市長は『本日、アクアライン通行料金の800円継続が決定されたことを大変うれしく思うとともに、太田国土交通大臣のご英断と森田県知事をはじめとする関係各位のご尽力に心から敬意と感謝を申し上げます。』と述べました。

*第2回アクアラインマラソン開催決定！



『海を走ろう～アクアラインの風に乗って～』平成26年10月19日(月)に第2回アクアラインマラソンが開催されます。今回は、より多くの方にアクアライン上でまるで海の上を走っているような爽快感を味わっていただけるよう、ハーフマラソンも実施されます。詳しくは、ちばアクアラインマラソン公式ホームページをご覧ください。

<http://chiba-aqualine-marathon.com/>

* 平成25年度12月定例議会報告 *



12月3日に住ノ江雄次議員が、4日に岡田貴志議員、6日に渡辺厚子議員が個人質問を行い、また、17日の市庁舎整備特別委員会にて岡田寿彦議員が代表質問を行いました。（主な質問の要旨を掲載しています。）



1, 空き家・空き地対策について・・・

2, 災害対策について・・・ 空き家・空き地対策について、先進地では空き家条例などを制定

し、助成制度をしている市もある。本市において、指導・勧告などの体制は組んでいるものの、改善に向けての効果があまり無いように見える。本市の実態の調査をしていないようだが、重要な課題であると認識しているのかが疑問だ。空き家・空き地対策に関しての市民の要望も多いと思うがどのような取り組みをされているのか？質問し、市の答弁は、空き家問題に関しては充分認識している。『空き家管理条例』については平成26年度、3月定例議会で議案の説明をし、その後パブリックコメント（意見公募）にかけ多くの意見を聞き、6月度定例議会で議案上程し、市民への周知期間を経て、条例執行となります。



1, 公共交通（バス交通）の整備について・・・

2, 防災行政について・・・ 昨年11月1日から運行された新規路線バス『八幡台・羽鳥野・

請西東・ほたる野線』の経緯を確認。バス会社は、この路線を『生活支援型路線バス』と位置づけているが、生活支援型バスというならば、利便性・料金体系の見直しを含め、市として今後、路線バスをどのようにするのか？真剣に考えて進めることが急務であると訴え、京丹後市の上限200円バスを紹介し、市が主体性を持つて、市とバス会社だけで進めていくのでは無く、沿線の民間企業と利用者（市民）と連携・協力を図り低額料金の路線バス体系を作り上げるべきと強く要請しました。また、防災行政について、更なる災害時応援協定の推進と防災行政無線の点検・市内に設置されて無い避難誘導標識の設置を要請しました。



1, 支え合う力【ボランティア活動】の充実について・・・

はじめに、ボランティア活動に係わる各部署（学校教育課・生涯学

習課・市民生活課・社会福祉協議会）の役割について現状・課題を確認。さらに、ボランティアセンターの機能強化や市民活動センターの必要性について質問しました。社会福祉協議会では、今年度作成した「第2次木更津市地域福祉活動計画」において、優先的に取り組む重点事業の一つとして、ボランティア育成事業が位置づけられていることや、今後ホームページを充実させて行くこと等が示されました。また、本市には、ボランティア活動の総合窓口機能が無いことを指摘し、NPO活動・1%支援制度・国際協力活動等の市民活動全般を取りまとめる「市民活動センター」の設置について、先進事例を紹介しながら、その必要性を訴えました。



* 新庁舎整備事業について（市庁舎整備特別委員会にて会派代表質問・・・）

庁舎整備事業要求水準書（案）の概要説明

を受け、施設整備の要求水準、設計に関する業務要求水準、建設に関する業務要求水準、維持管理業務、運營業務、付帯事業の要求水準等、かなり細部まで指示している印象があり、ここに規定されていない内容について、事業者から積極的に創意工夫を発揮した提案が出てくる要素があるのか？質問しました。サイン計画での、災害時の聴覚障害のある方への対応は、トイレ内に設置する緊急サインは、多目的トイレ及び一般トイレにも設置し、安心して利用できるように計画されています。市民協働スペース・売店については、市民やNPO等と市が相互に連携し活動を行う拠点として、地域活動を支援するスペースの設置を計画しています。

* 公明党内房総支部移動法律相談のお知らせ * 次回は、2月25日（火）午後1時から、君津生涯学習交流センター2F（会議室）で行います。相談希望の方は、担当議員に連絡してください。

* あなたの声をお聞かせください。公明党木更津支部：r-komei@asahinet.jp *